

# 今月の花

9月例会

2015. 09. 14





# クサギ しそ科 臭木

葉に悪臭（一種異様な匂い）があることからこの名がついた。

花弁は白いが愕ははじめ緑色、次第に赤くなる。甘い香りがある。

受粉は、昼は大型のアゲハチョウ科のチョウが、夜はスズメガ科の大形のガが行う。果実は紺色の液果で秋に熟す。



利用：

若葉は茹でて山菜として食べられる。

果実は草木染に使う。媒染剤なしで絹糸を鮮やかな空色(青)に染める。この青色色素は学名(*Clerodendrum tricotomum*)に因んでトリコトミンと名付けられた。

赤い愕は鉄媒染で渋い灰色に染める。







オオニシキソウ 大錦草

コニシキソウ 小錦草

とうだいくさ科。北アメリカ原産の帰化植物。コニシキソウは1895年、牧野富太郎が東京と横浜で発見した。在来種にニシキソウ（茎は這う）がある。

雄花・雌花を咲かせ、花粉や種はアリによって運ばれる。